



福岡県医第 1530 号 (地)

平成 24 年 9 月 13 日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 松田 峻一良
(公 印 省 略)

数値目標を設定した節電並びに計画停電の準備期間の終了について

初秋の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。毎度格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

今般、九州電力株式会社福岡支社長の訪問があり、標記期間が終了した旨の報告並びに御礼とともに、冬期の電力不足に向け引き続き本会と協議を行う旨の申し合わせをいたしましたので報告申し上げます。

今夏の原子力発電所の運転停止に起因する電力不足に関しましては、平成 24 年 5 月 24 日付け福岡県医第 552 号 (地) 等において積極的な節電への協力について、貴会及び貴会会員へお願いしておりましたが、皆様のご協力により計画停電が実施されず無事終了いたしましたことを御礼申し上げます。

小郡三井医師会より

医業経営担当理事 廣瀬真恵
会長 蒲池 壽

数値目標を踏まえた節電へのご協力のお礼について

今夏は、節電にご協力いただき、誠にありがとうございます。

当社は、原子力発電所の運転停止が継続し、今夏の需給状況が厳しい見通しであったことから、お客さまに、7月2日から9月7日までの平日※において、一昨年の使用最大電力の▲10%以上を目標とした節電へのご協力をお願いしてまいりました。

※お盆期間(8/13~8/15)を除く

また、万が一の不測の事態への最終的な備えとして、同期間において、計画停電についても準備してまいりました。

お客さまには、大変なご心配とご迷惑をお掛けしました。特に計画停電に関するお知らせにつきましては、当社の説明不足等もあり誤解や混乱等を招きましたことを深くお詫び申し上げます。

このような状況の中、今夏の最大電力需要は、お客さまの節電へのご協力などにより、期間を通して、気温の影響を除くと、一昨年比▲10%程度低く推移しました。

また、供給面においては、他電力からの応援融通の受電や取引市場からの電力調達など、追加供給力確保に向けた取組みを行った結果、電力供給に大きな支障は生じませんでした。

皆さまの節電へのご協力に対しまして重ねてお礼申し上げます。

当社は、今後とも、電力安定供給確保に向けて社員一丸となって最大限の努力を尽くしてまいります。

本日をもって、数値目標を設定した節電のお願い期間、ならびに計画停電の準備期間は終了いたしますが、今後、夏季に移動した発電所の点検・補修などを行う必要があることから、当面は厳しい需給状況が予想されます。

お客さまにおかれましては、今後とも「生活や経済活動に支障のない範囲での節電」にご協力いただきますようお願いいたします。

以上

今夏の需給実績について(速報)

平成24年9月7日

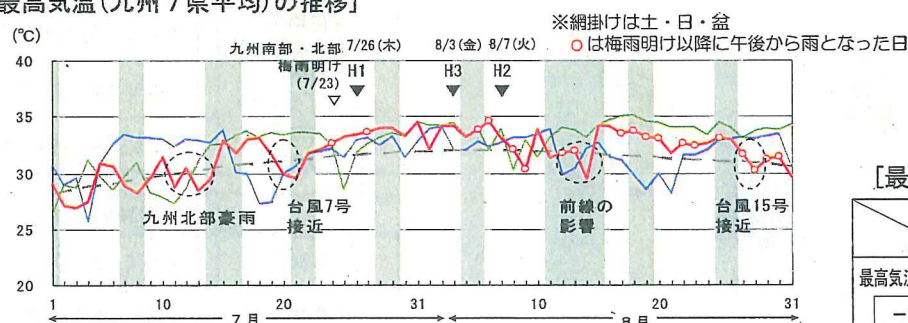
九州電力株式会社

今夏の気象と時間最大電力の推移

1

- 7月中旬までは九州北部で豪雨となるなど、天候不順が続き、7月23日に平年より遅く梅雨明け。
- その後、7月下旬から8月上旬にかけては、最高気温が平年を上回る日が継続。【7月26日に時間最大電力を記録】
- 8月のお盆以降には、太平洋高気圧が強まり、高気温となる日が継続。ただし、この時期は、上空の寒気の影響を受け大気が不安定となったことから、午後からの雷雨が多発。【時間最大電力は低く推移】
- このため、九州全域が一様に高気温となる日が少なく、更に8月の最高気温は一昨年より低く推移。

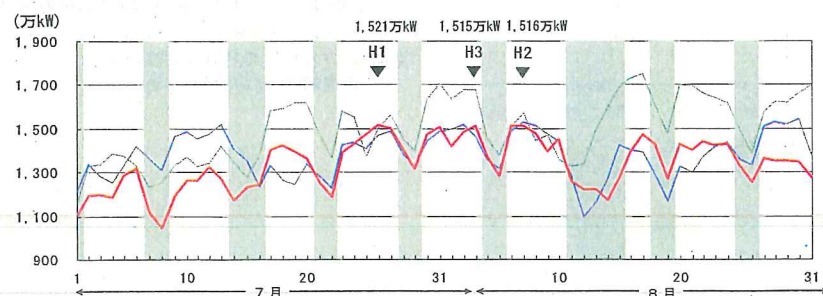
〔最高気温(九州7県平均)の推移〕



〔最高気温実績(九州7県平均)〕

	7月			8月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
最高気温(°C)	29.1	31.0	33.0	33.2	32.7	31.9
一昨年差	0.0	+0.4	+0.3	▲0.6	▲0.6	▲2.2
前年差	▲1.1	▲0.8	+1.5	+0.5	+0.9	+0.3
平年差	+0.1	+0.4	+1.4	+1.2	+1.0	+0.9

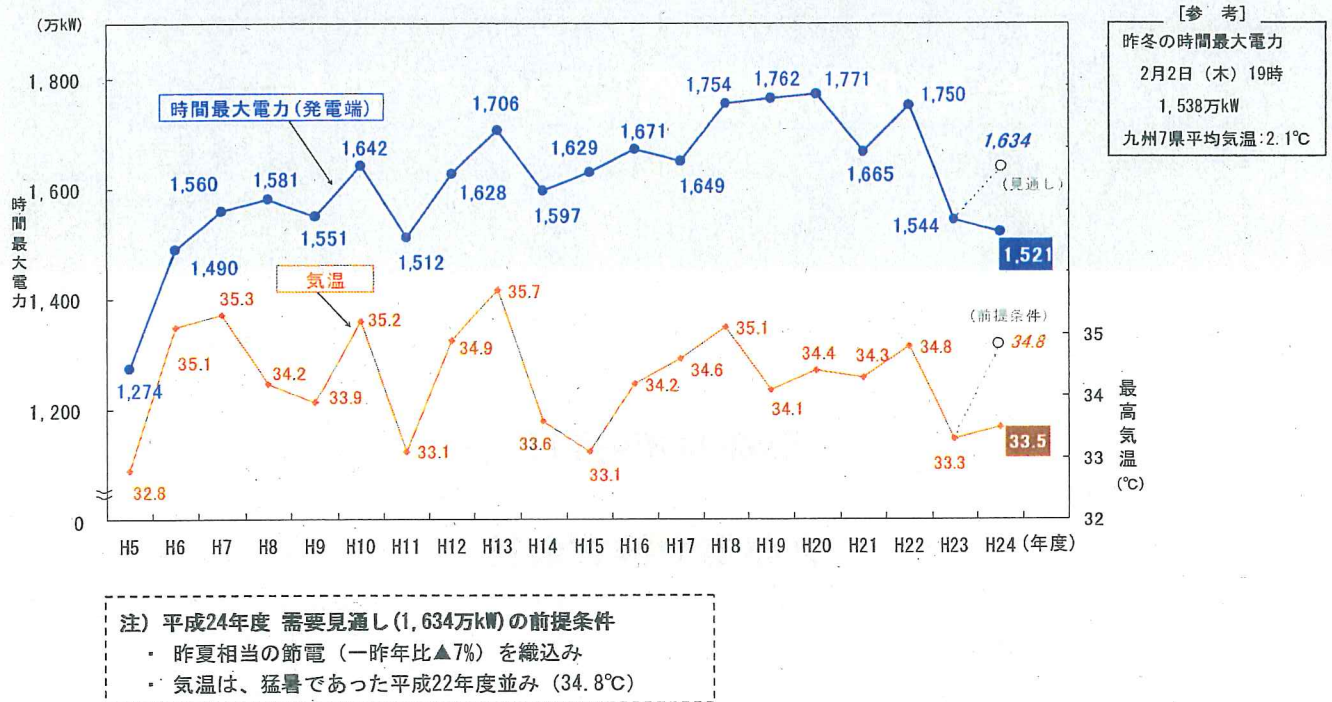
〔時間最大電力(発電端)の推移〕



〔梅雨明けの時期〕

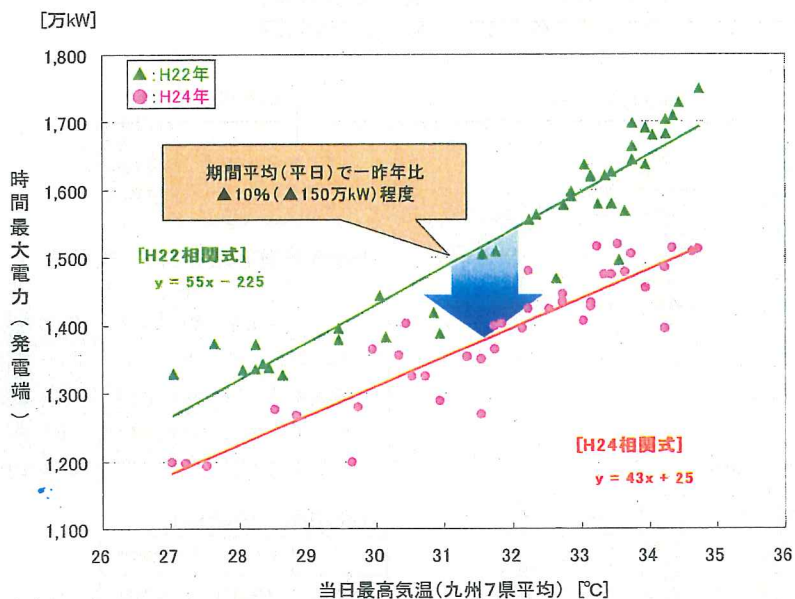
	九州北部	九州南部
H24年度	7月23日	7月23日
H23年度	7月8日	7月8日
H22年度	7月17日	7月20日
平年	7月19日	7月14日

- 今夏の時間最大電力 1,521万kWは、平成6～9年度夏季相当程度水準。
- また、昨冬の時間最大電力 1,538万kWを ▲17万kW下回った。



今夏の電力需要実績

【最大電力と気温の相関】



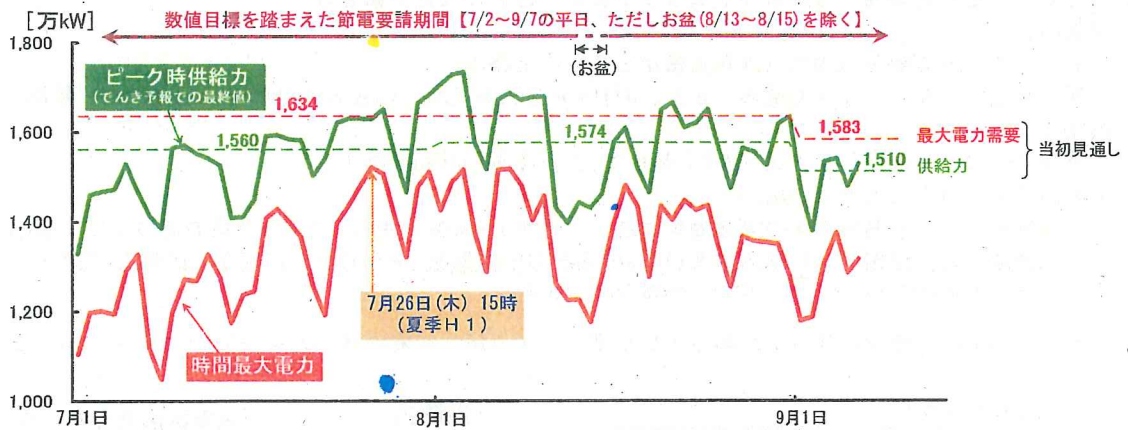
【用途別の節電効果等(一昨年比)】

	期間平均(平日)
家庭用 (一般のお客さま)	▲12% (▲50万kW) 程度
業務用 (ワイヤルなど)	▲10% (▲70万kW) 程度
産業用 (工場など)	▲7% (▲30万kW) 程度

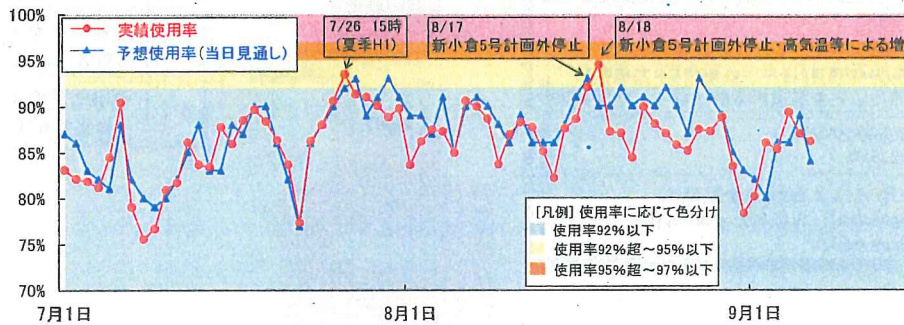
	期間平均(平日)
家庭用	▲12% (▲50万kW) 程度
500kW未満	▲9% (▲60万kW) 程度
500kW以上	▲8% (▲40万kW) 程度

※期間は7月2日～8月31日までの平日
(お盆期間(8/13～8/15)を除く)

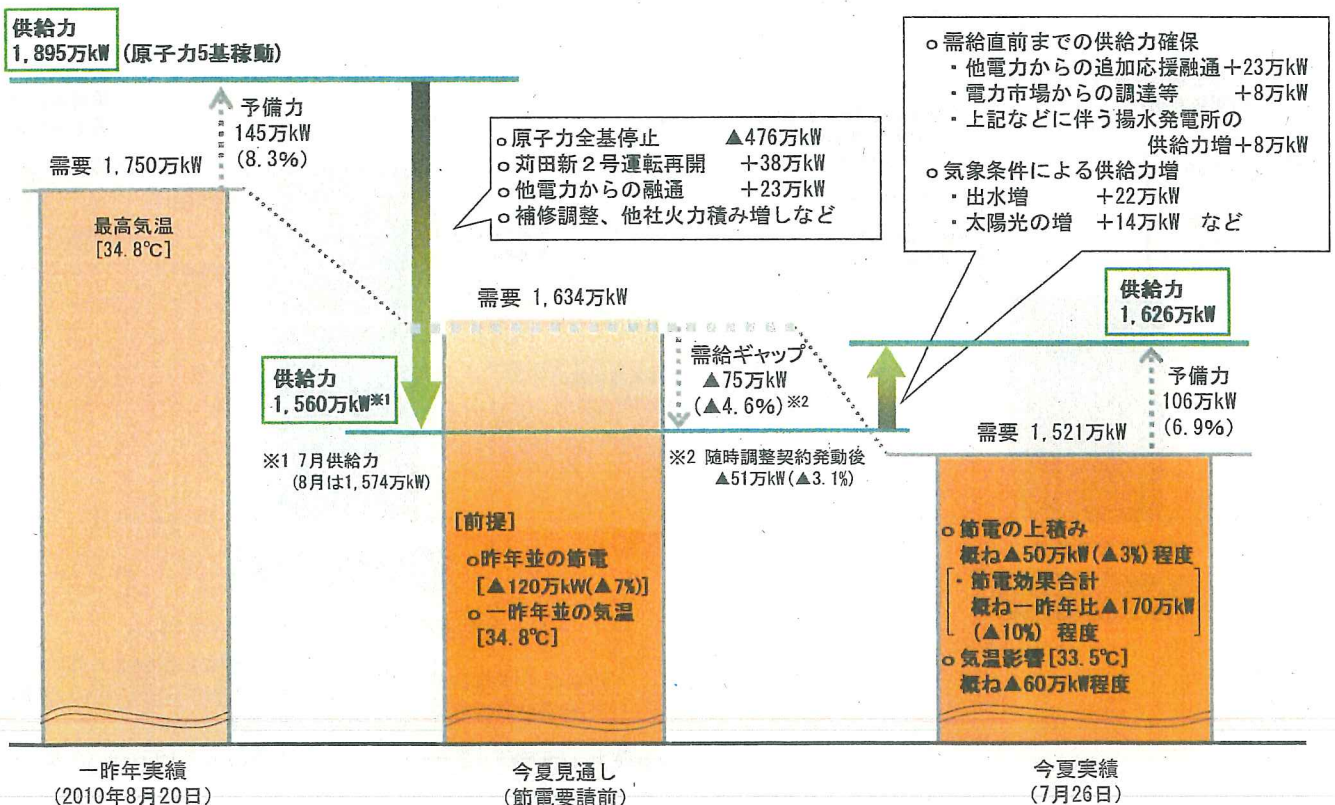
【時間最大電力と供給力の推移】



【使用率の推移】



今夏の需給実績



- 今夏は、原子力発電所が全基停止し、厳しい需給状況となることが予想されたが、お客さまに節電のご協力をいただき、また需給両面での好条件も重なった結果、電力の安定供給を維持。

〔需要面〕

- ・お客さまによる節電の効果（昨年実績からさらに上積み）
- ・最高気温が一昨年より低く推移、また、8月中下旬は高気温ながら大気の状態が不安定で、雷雨が多発

〔供給面〕

- ・高需要となった期間（7月下旬～8月上旬）に、主要電源の計画外停止なし
- ・降雨増に伴い水力供給力が増加
- ・中西地域におけるお客さまの節電効果に加え、大飯3、4号機再稼働※に伴う供給力増により、中西地域全体での応援融通余力が増加（供給力最大日8/3の追加の応援融通：+75万kW、市場からの電力調達：+20万kW）

※大飯原子力再稼働状況：3号機 7/9～フル運転、4号機 7/25～フル運転

- ただし、以下の需給変動リスクが顕在化した場合、より厳しい需給状況となっていたと考えられる。

〔供給面の変動リスク〕

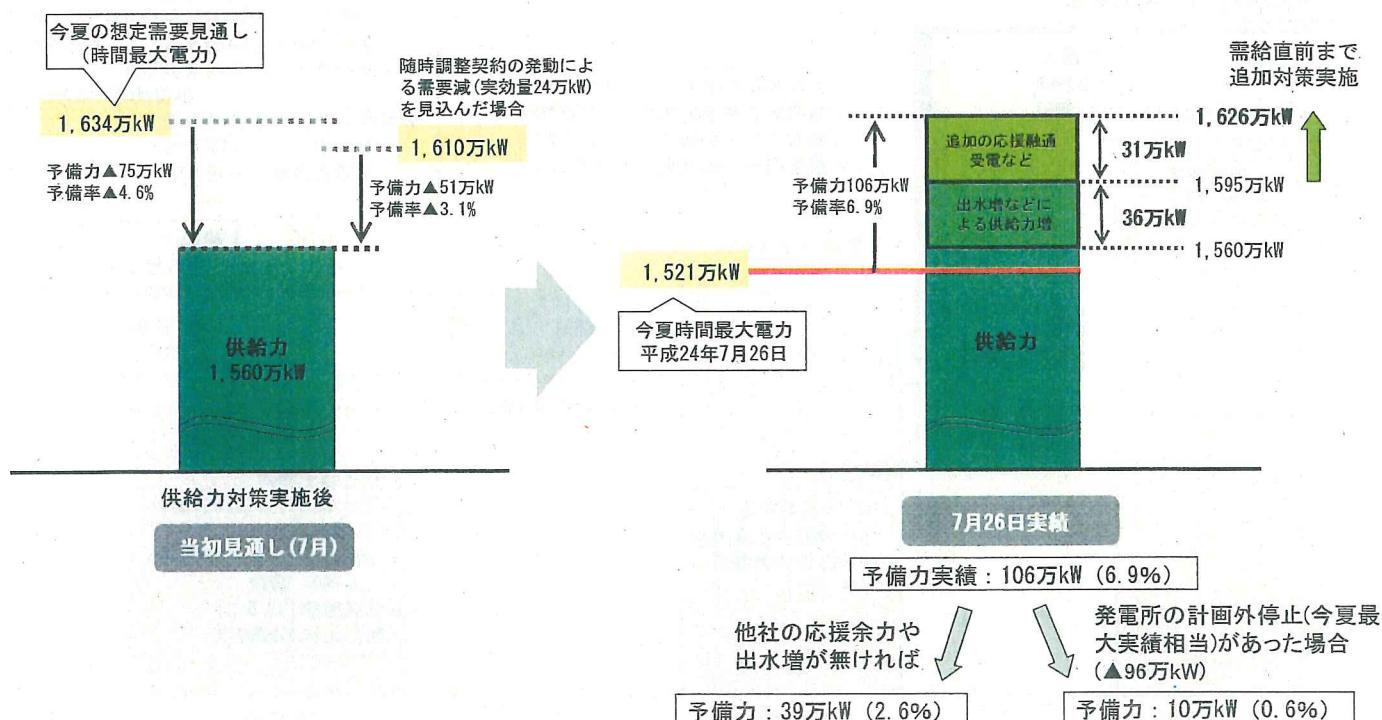
ケース	リスク [影響量]
A-1	発電所の計画外停止 ・単機最大▲70万kW ・今夏最大実績▲96万kW（9月2日～、新小倉5+菊田新1） ・小丸川下ダム洪水による発電制限▲80万kW～▲120万kW
A-2	渇水による水力供給力の減 ・渇水の場合▲20万kW
A-3	他社の応援余力不足による融通受電の減 ・中西地域の予備率の減、▲1%あたり▲90万kW ・他社発電所の計画外停止

供給力



〔需要面の変動リスク〕

ケース	リスク [影響量]
B-1	猛暑による需要増 ・気温1℃あたり+40～50万kW
B-2	節電効果の減 ・節電率▲1%あたり+17万kW



	件数	調整電力
夏季計画調整契約（7月平日平均）	1,289件	58万kW
最大需要電力調整割引（7月実績）	46,408件	25万kW
※ スポット負荷調整契約（契約値）	605件	20万kW
※ 節電アグリゲーター（契約値）	8社	3千kW程度
※ 緊急時の節電ご協力お願いメール（9月7日時点）	9万件	—

※契約のみで要請しておりません。

計画停電に関するお問合せ等

参考 2

お客さまからのお問合せ件数(実績)

6月22日(金)～9月4日(火)の累計問合せ件数は 約15万6千件

※ピークは節電要請期間初日 7月2日(月)の約3万3千件

（参考）当社事業所における節電取組み

当社事業所における電力使用量削減率は、7月度で、一昨年比約30%、昨年比約18%

〔 主な取組み内容 〕

- ・空調の適正管理
- ・照明間引き
- ・エレベーターの間引き運転
- ・パソコンディスプレイの照度調整 等